

## 平賀壯太・ひらがそうたの 一般向け著書

1936年新潟県南魚沼郡六日町に生まれる  
元熊本大学教授(分子生物学)  
定年退官後は京都大学でバクテリアの研究を続け、  
自宅ではチョウの研究をする



平賀壯太



ひらがそうた



### 「南魚沼のフェアブル 昆虫少年物語」

六日町地区理科教育センター編 平賀壯太(分担執筆・絵)  
六日町立北辰小学校内 六日町地区理科教育センター 出版  
電話 0257-73-6746 ¥1000

当時生活史が不明だったオオゴマシジミの生態を、著者が中学生時代にアリの人工巣を使って明かにした挿話を中心に、繰り広げられる「熱血昆虫少年」の物語の数々。後半は理科の先生たちによる郷土の生物の資料がいっぱい。小中学生のためのユニークな理科の副読本です。



### 「生物の惑星」 平賀壯太(文と絵)

太陽書房(新潟市) ¥2000

著者の郷里の六日町で開催された上記の本の出版記念講演会での元「昆虫少年」のユーモア放談！ その講演でのたくさんのユーモラスなエピソードに、聴衆は抱腹絶倒。講演で使われた作者の描いた多数のカラーズライドがこの本では挿絵として使われており、楽しい絵本になっています。あふれる笑い！ わきあがる力！



### 「透明なノート」 ひらが そうた(文・イラスト・編集)

新風舎(東京都) ¥2300

成長してフリーター老人になった著者が描いたイラストと文が織りなすユーモラスで詩的なユニークな世界。詩情豊かな「ちぎれとぶコトノハ」。インターネット上で行き交うユーモラスなディスカッション「マロニエ広場」。この一風変わった「ひらがワールド」へ、あなたもどうぞ。



### 「蝶・サナギの謎」 平賀壯太(文・絵・写真・研究)

トンボ出版(大阪市) ¥1890

定年退職した著者が、少年時代の研究テーマに再挑戦して、ついに明らかにしたアゲハチョウとアオスジアゲハのサナギの保護色の決定の仕組みについての新発見！！ 驚いたことに、幼虫は「周りの色」を見てサナギの色を決めていたのではなかったのです。この自然の謎を解き明かした実験方法が、カラフルな絵や写真を多数使って丁寧に分かりやすく説明されている楽しい科学絵本です。

# 「カステラのかけら」

ひらが そうた (文・イラスト)

牧歌舎 (B6判オールカラー 92ページ)

定価：本体 1,500 円+税

かけらでもおいしい ユーモアのかけら  
ユーモアのない人生なんて 泡のでないビールのようなものです  
Life without humor likes beer without bubbles  
文とイラストでかもしだされるユニークなエスプリ



## 子どもの歌

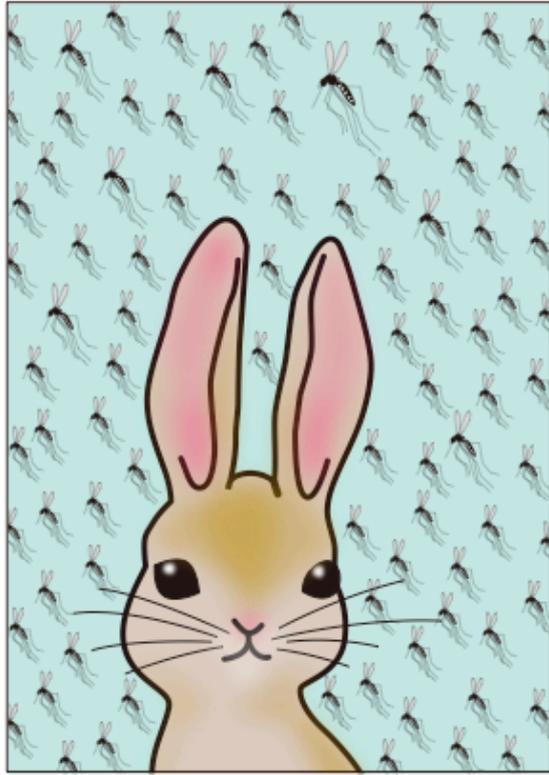
子どものころ、意味も分からずに歌っていた歌が誰にもあるものです。

「ウサギ追いし蚊の山 小ブナ釣りし蚊の川」  
田舎の山や川には、ヤブ蚊が多いですね。

「如何におわす父母 いつの日にか帰らん  
山は青き故郷 水は清き故郷」

というところも耳から覚えたので、「イカに負わす父母」だと思っていたのです。

じいさんとばあさんを背負ったイカが2匹、雑木林の山道を汗水たらしながら、ヨロヨロ クタクタと歩いています。もう日も暮れて、遠くの黒い森から「ホーホー」というフクロウの声も聞こえてきました。いつになったら、じいさんとばあさんは帰ってくるのでしょうか。そもそも、イカなどに父母を連れて帰ることを頼んだのがいけなかったのではないのでしょうか。



## 「カステラのかげら」の書評

- 定年退職した分子生物学者が描く神々の遊び。  
(お笑いエッセスト・FO)
- 子供は遊ぶことが仕事。実は大人も遊ぶことが仕事。遊びはクリエイティブ！  
老いない力をこの本に学びました。楽しむこと、遊ぶことは力！  
(大阪市文筆業・SG)
- 言葉が絵を浮上させ、そして絵が言葉を抽象する。散りばめた言葉と絵画の  
奇跡。  
(東京都外来人種・SW)
- うつつとした私を解放したのは病院ではなく、この一冊の本でした。  
(京都市美術家・K)
- この小さな本は正に本であることによって、この時代の病を癒す力がある。  
(神奈川県 B センター・A)
- 「ふざけている、ふざけている」と思いながら面白く読み続け、最後の一篇  
で泣きました。  
(京都府 U 市医療関係・MH)
- 手元にあるだけで、何だか幸せな気持ちになる美しい本ってありますよね。  
そんな本がまた 1 つ増え嬉しいです。  
(京都市 大学生・SA)